

6 2023

JIA 近畿支部 住宅部会通信



目次

表紙写真

5月例会 湯浅 街並み

例会報告

6月3日 JIA 近畿支部住宅部会 5月例会

Column

Information

23.06.03

JIA 近畿支部住宅部会 5月例会

醤油醸造の発祥の地

紀州・湯浅 歴史めぐり

担当世話人：瀧川嘉彦 北條豊和

参加者：会員9名 一般9名 合計18名

5月例会では、和歌山県有田郡湯浅町湯浅の旧市街、重要伝統的建造物群保存地区周辺をまちあるきするイベントを開催しました。

前日までの大雨で開催が危ぶまれ、当日もJRきのくに線が運休したために10名以上のキャンセルが出ましたが、それでも多くの方々がお車やバイクで駆けつけてくださりとてもうれしかったです。

湯浅重伝建地区選定に向けての保存対策調査に携わられた中西重裕さん（JIA 正会員・和歌山県建築士会副会長）に案内・講演をしていただき、湯浅の歴史や近現代の歩みについて幅広く理解が深まりました。

中西さんご協力ありがとうございました。





道町の立石道標をスタートに、深専寺・大地震津波の碑では、津波の教訓というのは現代人が忘れかけてしまっているだけで大昔からずっと語り継がれているものなんだと改めて感じました。

その後も鍛冶町通り、北町通りの街並みを堪能しながら、旧栖原家、岡正、津浦家、加納家、太田久助吟製などを見学しました。

甚風呂では保存されている個性的な外観と内部のつくりを見学し、展示されている資料から往時の生活様式を知ることができました。懐かしさを感じておられる方々も多かったように見受けられました。



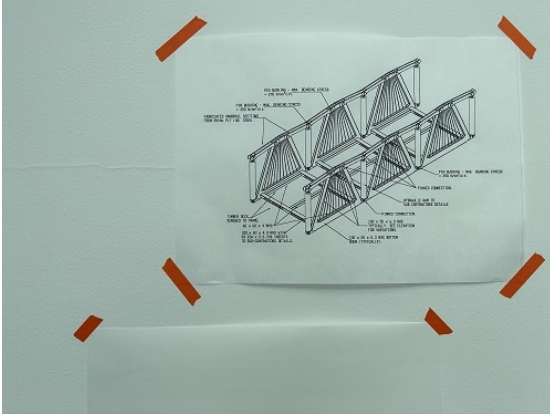
浜町通りの旧赤銅家の長大なファサードを誇る最大級の町家を見たあと、天保12年創業の角長も見学し、湯浅の代表的景観である大仙堀で記念撮影をしたあと講演会場である「北の町老人憩いの家」本多友常氏設計 に向かいました。

皆さまのご協力でこのような貴重な地域資産への理解を深めるイベントを企画できよかったです。皆さまこれからもよろしくお願い申し上げます。



瀧川嘉彦 北條豊和

Column



六本木の森美術館にて「ヘザウィック・スタジオ展 共感する建築」を会期末滑り込みで見に行きました。

ロンドンの運河にある「ローリング・ブリッジ」が私の初めて見たトーマス・ヘザウィック作品で、船の通過のために橋がくるくと巻き簾のように開閉する不思議な橋で、可動の様は生き物が動いているかのようでした。当時工業デザインを多数手がけていたヘザウィックですが、現在はとても大規模な建築をデザインしています。

展覧会ではスケッチやスタディ模型から建築模型、そして実際の写真までプロジェクトの発想の種から建築に至るまでの過程を垣間見ることができ刺激的でした。アートを感じさせるそれぞれの建築作品の中にも人の営みが想像でき、どこか身体性を感じる建築は彼のデザインキャリアのベースに家具やプロダクトデザインがあることが伺えます。

展覧会は終了しています。下記、本展覧会に合わせて出版された書籍です

[a+u 2023年3月号 - 特集：ヘザウィック・スタジオ | Architecture and Urbanism \(a+u\) | 株式会社新建築社 \(japan-architect.co.jp\)](#)

写真上：「ローリング・ブリッジ」のスケッチ
中：グーグルの社屋 模型
下：プランターを集めたような公園

世話人副代表：松本和也

Information

7月例会 2023年7月8日(土)15:00~
「建築設計におけるAIとパラメトリックデザインの可能性について」
<http://www.jia.or.jp/kinki/pickup/16698.html>

世話人会 2023年7月3日(月)16:30~17:30 @ZOOM